

衆議院北海道2区補欠選挙 松木けんこうさんの支援決定 菅政治に審判・政権交代への第一歩に

建交労北海道本部は4月8日に開催した道本部第3回執行委員会で、4月13日告示・4月25日投票でたたかわれる衆議院北海道2区補欠選挙で、市民と野党の統一候補・松木けんこうさんを支援してその当選のために全力をあげることを決定しました。今回の補選は、強権と金権腐敗、コロナ対策の無策で国民を苦しめる菅政権に審判を下して、政権交代で憲法を守り立憲主義・民主主義を回復して国民を守る政治への転換をめざす国民のたたかひの第一歩となります。

道建協と日建連北海道支部に要請書

道本部の宮澤書記長は、4月5日に北海道建設業協会と日本建設業連合会北海道支部に「北海道における建設労働者の賃金・労働条件改善に関する要請書」を届けました。道建協では対応した井之口労務部長に、5月20日前後に要請・懇談の時間をとってもらうようお願いしました。日建連北海道支部では寺島事務局長と福田事務局次長が対応し「東京の本部でやることであり、ここで受けてもなにもできない。懇談、要請を勝手に受けるわけにもいかない」としながらも、「建設キャリアアップシステム（CCUS）については軌道にのせていかなければという問題意識はある。建設業の発展、衰退、高齢化の分岐路であり危機意識はもっている」「設計労務単価がなかなかあがらない中で、なんとか賃金実態を2%あげること目標にしている。そうしないとまた設計労務単価は下げられてしまうし悪循環になってしまう」「建退共の電子化・統合はシステムの修正をかけたりにしてなかなかすすんでいないようだ」などの話を聞かせてくれました。

JR北海道・経営協議会

北海道鉄道本部は4月5日のJR北海道との経営協議会で「令和3年度JR北海道グループの経営計画」について意見交換をおこないました。会社からは、政府からの支援に応える経営改善と安全対策の推進、経営基盤を確立するために不動産事業の展開をおこなうことなどが説明されました。組合からは、社長があらゆる場面で用いる「自助努力」という言葉に対して、政府が自助・共助・最後に公助があるとする姿勢をそのまま受け入れていると指摘し「JR発足の経緯からも先に政府が公助としてJR北海道への支援を示すことが北海道民への約束事を守るうえで当然であり、労使の立場は違うがお互いのルートを活用して政府の考えを正していくことが必要だ」と冒頭で発言し、鉄道利用者を増やすために地域と密着したアクションプランの取り組み（＝共助）を重視して、JR北海道が列車運行を続けるための努力を惜しまない姿を見てもらうことが今後の取り組みに大きく影響することや、2両ワンマン電車の製作について利用状況に即応できる特急列車の編成見直しと合わせて、運行コストの削減（＝自助）と利便性を考慮した小回りが利く車両運用の検討を提起しました。また、運転士の高齢化にともない健康管理を徹底することや若年退職者の増加を防ぐために社員が希望を持てる方向を示すよう経営陣の努力を求め、北海道民にとって欠くことができない鉄道網を支えるための経営計画が推進されることへの期待を述べて意見交換を終えました。

衆議院北海道2区補欠選挙

市民と立憲野党の統一候補

松 木 け ん こ う 様

2021 年 4 月 8 日

全日本建設交運一般労働組合北海道本部

執行委員長 森 国 教

支援決定通知書

全日本建設交運一般労働組合（建交労）北海道本部は、4月8日に開催した第3回道本部執行委員会において、市民の風・北海道、立憲民主党北海道総支部連合会、日本共産党北海道委員会、社会民主党北海道連合による「衆議院北海道2区補欠選挙にかかわる協定書」が結ばれたことを受け、「市民と立憲野党」の統一候補である松木けんこう氏の支援を決定しましたのでここに通知いたします。

冷酷で強権的な菅自公政権を終わらせ、政権交代の実現に向けて協定された政策課題で、政治とカネの問題を正し、自己責任を強調する政治からの転換、格差是正と生活支援、多様性が活かされ誰もが尊重される社会への実現へと踏み出すことを確信し、広範な団体・市民とともに「市民と野党の共闘」を大きく前進させ、衆議院北海道2区補欠選挙を勝利するために、私たちもともに奮闘します。

以 上

野党統一候補 衆議院北海道2区
【札幌市東区・北区（一部を除く）】

松木けんこう さんの

野党政策協定

- ①政治とカネの問題を徹底究明する。
- ②いのちと人間らしい生活が最優先される新型コロナウイルス感染問題への緊急対策を実施するとともに、競争と効率・自己責任を強調する政治家らの転換をはかり、格差是正と生活支援を進める。
- ③市民と野党の共闘によって衆議院2区補欠選挙に勝利して政治の流れを変え、憲法を守り、立憲主義・民主主義を回復し、ジェンダー平等をはじめ人々の多様性が活かされ、誰もが尊重される社会を築く。



2区補選に勝利して、自助から公助へ

総選挙で 憲法破壊政権から憲法いかす政権へ
菅自公政権を交代しよう！

期日前投票活用しよう！
4/13[火] — 24[土]

投票日
4/25[日]

【※組織内資料】

くらし・いのち・雇用をまもる

野党 共闘

北海道2区 北区・東区
衆議院議員補欠選挙

「仕方がない」とのあきらめや先が見えない不安。感染対策にともなう負担増と売上減。年末賞与カットや人員整理。コロナ禍で、数千万人の人たちが雇用や生活に打撃を受け、先行きに不安を感じています。政府は「自助」を強調します。このコロナ禍で、あらゆる地域の人たちが、あらゆる産業の人たちが、すでに「自助」でやることをやれるだけやりぬいています。

私たちは経験しました。「仕方がない」とあきらめて我慢するだけではより悪化していくことを。休業補償や家賃補助、慰労金や給付金など「声をあげれば変わる」ということを。

4/25.  日
投票に行こう

札幌地区労働組合総連合